

公園野球場について

Q: 公園野球場について

[岩槻城址公園野球場] [川通公園野球場]
施設の現状と整備改修の予定について、お聞かせいただきたい。

A: [岩槻城址公園野球場]

平成 28 年 12 月に埼玉県野球連盟、さいたま市野球連盟連合会等から、岩槻城址公園野球場の改築について要望書が提出されている。岩槻城址公園野球場は、昭和 42 年の埼玉国体のソフトボール競技会場として建設されたもので、施設の老朽化により場内の施設修繕行っているところである。当該地は岩槻城跡として埼玉県の史跡に指定されている事を踏まえると、現存する施設の老朽化対策以外の要望については、文化財保護の観点から改修等は大変困難である。については、修繕、または小規模改修の範囲内で引き続き対応させて頂きたい。

[川通公園球場]

レフト側の隣接地における、さいたま市環境局のメガソーラー事業を推進する際、飛球による設置機器等への被害について市及び競技関係者は一切責任を負わないということとを条件として公募事業者が決定されてきた。防球ネットの改修については、設置スペース等の構造の課題のほか、日陰によるソーラーパネルの発電効率への影響や事故発生状況を踏まえながら、関係部局と協議調整して行く。



都市計画道路東川口駅越谷線について

Q: 都市計画道路、東川口駅・越谷線について

これは、岩槻区の南部釣上新田に計画をされている都市計画道路であり、岩槻区の南のわずかな延長で都市計画道路の名前通り、川口市と越谷市をつなぐ事ができる。この延長が、レイクタウンや県の施設で防災基地にもなっている健康福祉村へとつながり、便益なる道路になると思われる。この都市計画道路の整備について、さいたま市の見解をお聞きしたい。

A: 東川口駅・越谷線については、幅員 16 メートル、延長は総延長で 3.3 キロの路線で、このうち本市分は約 240 メートルとなっている。これは都市の健全な発展と秩序ある整備を図るためということで、平成 4 年 2 月 12 日に川口市域、越谷市域とを合わせて埼玉県が都市計画決定をした路線である。

この路線については、平成 24 年 10 月に策定した「さいたま市道路網計画」で 12 の指標で評価をしているが、このうち周辺市との交流拡大という指標で評価しており、道路網計画において必要な路線ということで位置づけをしている。このため、道路網形成プログラムの中では、存続候補路線に位置づけた路線となっている。



東徳力地区
浸水対策について
検討を開始!

平成 28 年 9 月定例会・まちづくり委員会において 質問致しました

河川改良事業・流域貯留浸透事業について

Q: 慈恩寺地区において、先般の台風 9 号の際、改善された西徳力地区の調整池はその機能を発揮し、大きな被害を回避できた。同じ地区である東徳力地区の調整池の機能改善、改良について検討されているのか伺いたい。

A: 平成 28 年 8 月に自治会より調整池とポンプ設備の整備、強化の要望が出された。これを受けて、自治会と河川課で浸水状況を再確認した。

また、東徳力団地においては、開発された当時と比べ、周辺の盛土がされてしまったこと、土地利用が図られ宅地化が図られたということで、非常に雨が流入しやすい状況になっている。これにより、浸水被害が大きくなっている。また、東徳力団地自体が、一級河川の古隅田川に面しているが、多少低い状況である。

これらのことから、今後は既設調整池がどのように活用できるのか、ということも含め、放流先である一級河川の古隅田川の管理者である埼玉県とも、ポンプの増強等についても可能かどうか、など浸水対策に向けた検討を開始していきたい。



さいたま市の情報や、取り組み
まちの話題が満載です!

